

報道関係者各位

電子メールの送受信や電話が可能に！

ナムコ、福祉機器・携帯型意思伝達装置「トーキングエイドIT」を発売

株式会社 ナムコ
社 長：高木 九 四 郎
本 社：東京都大田区矢口 2-1-21
資 本 金：27,369,117,031円

株式会社ナムコは、携帯型意思伝達装置『トーキングエイド』に、通信機能に対応した新シリーズ「トーキングエイドIT」を2003年11月7日(金)に発売します。1985年に第1号商品を発売して以来、18年ぶりの新シリーズ発売となります。

「トーキングエイドIT」は、社会のIT化とユーザーニーズの変化に対応して、電話やメールなどの通信機能を新たに開発。今までは、外出の際に家族や知人と連絡をとることが困難なため、なかなか一人で行動することができなかった方も、この通信機能を使用することでさらに行動範囲が広がります。

ナムコでは今後も、障害のある方々のニーズの多様化と急速に拡大する社会のIT化を鑑み、“障害者コミュニケーション機器”の多機能化とラインアップの充実、情報システム機器の開発に力を入れ、真の自立を目指す障害者や高齢者の方々に応援していきます。

【「トーキングエイドIT」の新機能】

コミュニケーション機能の拡大

市販のデータカード型 PHS⁽¹⁾を装着することで、メールの送受信や電話をすることが可能となりました。

相手を待たせない「オートアンサー」

電話に素早く対応できない障害のある方々のために、発信後に相手が出た際の「もしもし です」や、着信時の「はい です」などの言葉を登録し、メッセージを自動で電話口の相手に伝える「オートアンサー」を搭載しています。

優れた文字入力機能

文字入力は、ひらがなだけでなく漢字変換が可能。また、語句、文句の一字目を打つだけで、該当する言葉が使用頻度の高いものや一般的なものから表示される「単語予測入力機能」や、「上書き・挿入モード機能」により、文章の作成・編集がより簡単になりました。



トーキングエイドIT

その他の特色

新たな音声合成機能により、読み上げが一段と自然で聞き取りやすくなりました。

USB ケーブルを使用することにより、パソコン接続時の煩雑な設定の手間を解消しました。パソコンと接続することにより本製品をキーボードの代わりとして使用する事ができるほか、「トーキングエイドIT」に記憶してある電話帳やメールをパソコンに保存することもできます。

デザインを一新し、カラーも「イノセントオレンジ」「シンシアグレー」と、福祉機器のコミュニケーション機器としてはめずらしく2色揃えています。

* 従来の『トーキングエイド』も引き続き販売いたします。

* 本製品は2003年10月15日(水)～17日(金)「第30回 国際福祉機器展 H.C.R.2003」(東京ビッグサイト東展示6ホール)に展示します。

【「トーキングエイド」とは】

「トーキングエイド」は、アシスティブテクノロジー²の先駆けとして1985年に発売。以来18年に渡り、年間約1,000台(累計約2万台)をコンスタントに出荷しているロングヒット製品です。会話や筆談が困難な、主に脳性マヒなどの障害のある方向けの携帯型コミュニケーション機器で、厚生労働省の規定する「重度身体障害者日常生活用具給付等事業³」の給付種目に該当します。近年は養護学校のみならず、病院や高齢者施設の医師、理学療法士、作業療法士などの勤めにより、脳血管障害⁴やパーキンソン病で会話が不自由となった方々のご利用も増加しており、高齢者マーケットにおける注目も高まっています。

【トーキングエイド IT仕様】

- 〔発 売 日〕 : 2003年11月7日
- 〔外 形 寸 法〕 : 幅288mm × 奥行268mm(ガードバンパ装着時) × 厚さ65mm
- 〔重 量〕 : 1.2kg
- 〔表 示〕 : 液晶表示(16×16ドット) 一画面最大60文字
- 〔音声合成出力〕 : 最大500mW
- 〔充 電〕 : リチウムイオン電池内蔵。8時間充電で連続8時間使用可能(音量中以下)
- 〔O S 等〕 : Windows CE搭載、漢字辞書(MS IME)、USBキーボード機能搭載
- 〔付 属 品〕 : ショルダーベルト、ACアダプター、プロテクタ
- 〔価 格〕 : 168,000円
- 〔販 売 方 法〕 : 福祉用具販売店、介護ショップ等にて販売。直接販売もいたします。

- 1 別売りの「株式会社NTTドコモ P in Free™ 1S」のみご使用いただけます。
- 2 アシスティブテクノロジー(支援技術 Assistive Technology)とは「障害のある方の生活を助けるテクノロジー」を指します。欧米では以前より用いられていた言葉で、元来、補装具や車椅子などがそれに該当しますが、最近ではパソコンを利用する障害者が急速に増加する中、身体機能の制限などにより通常の機器を使えない場合にそれを補う代替機器を指すようになりました。
- 3 重度身体障害者日常生活用具給付等事業とは、在宅の重度身体障害者に対し、浴そうなどの日常生活用具を給付または貸与することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資することを目的としています。詳しくは最寄りの福祉事務所へお問合せください。
- 4 脳血管障害者
高齢者に多いと言われ、35万9千人に上ります(厚生労働省報告:平成8年11月調べ)。

P in Free™ 1Sは株式会社NTTドコモの商標です。

Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。

本製品は財団法人ニューメディア開発協会からの委託事業「平成十二年度障害者・高齢者等向け情報システム開発事業」の基に製品化しました。



選べる2色のカラー



USBポートとPHSカード差込口



パソコンとの接続例

プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。

以上